

昔おきなわ風景探索

沖縄県公文書館所蔵の写真と空中写真

1945年6月～7月

Q. どこでしょうか？



地図を表示

(写真番号：06-66-1 をカラー処理)

千之紙中鹽灘・V

波 上宮から那覇市街地をみた写真。境内には壊れた石垣やがれきなどがみられます。中央に写っている第二鳥居、その後ろにわずかに見える第一鳥居も戦禍を受けましたが、崩れることなく残っています。写真左側の遠方には▼上之山国民学校（現在の上山中学校）、そのすぐ後ろには天妃国民学校（現在の天妃小学校）がわずかにみえます。右側には▼新天地劇場*がみえます。1944年の10月10日の空襲で多くの建物が失われ、その後の地上戦でも那覇市の多くの建造物が失われましたが、これらは戦後もしばらくその形が残っていました。

1945年2月28日

(資料コード:KS00000073 [ON24146005-2])



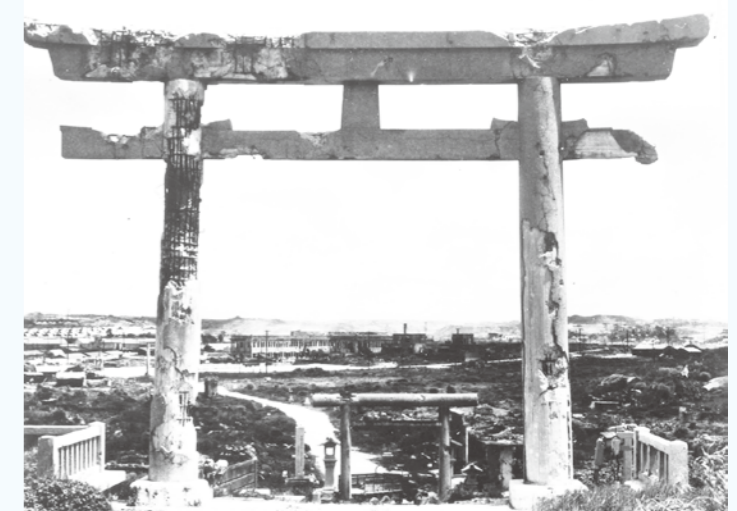
表紙で示された場所を米軍上陸前の波上宮付近の空中写真(1945年2月)からみてみます。表紙の写真は赤矢印の方向から撮影したと思われます。▼は那覇市営波上プール、▼上之山国民学校(現在の上山中学校)、▼は辻原墓地付近になります。



写真③ 波上宮からの撮影方向を矢印で示します。▼は那覇市営波上プール、▼上之山国民学校、▼開洋会館*(本リーフレット No.18 参照)、▼辻原墓地、▼新天地劇場になります。(1945年7月1日)(資料コード:0000256318)



写真④ 第二鳥居。戦後2年目ですが、草が生え、階段は利用できそうにもありません。(1948年)(写真番号:14-10-3)



写真⑤ 戦禍をうけた第二鳥居から市街地をみます。周囲は生活している様子が見えません。(1948年)(写真番号:14-10-4)



写真① 表紙と同じ写真。写真②と連続撮影しているようです。(1945年6月~7月)(写真番号:06-66-1)



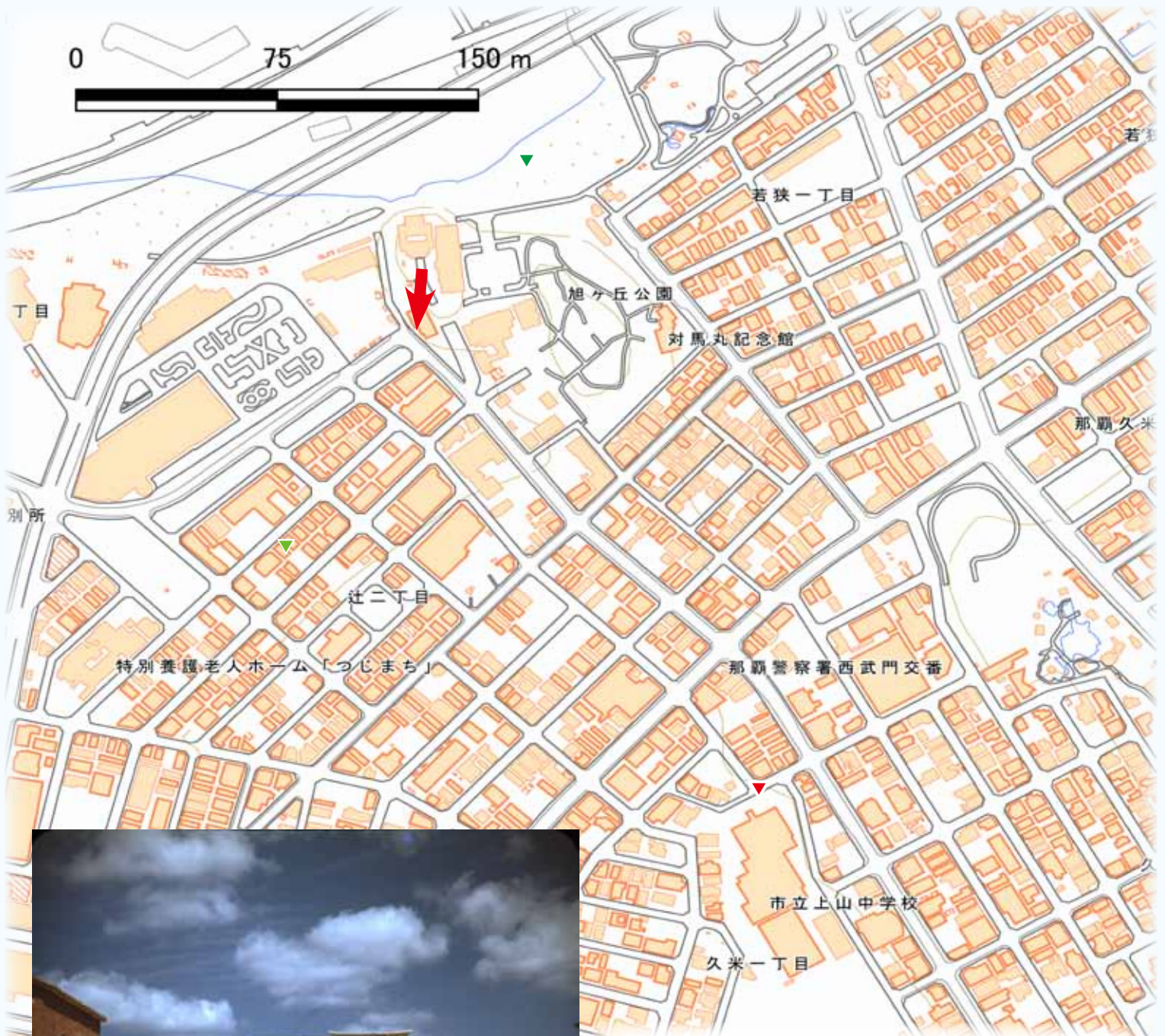
写真② 写真①と同じ位置から撮影か。遠方に辻原墓地*がみえ、その後方には煙がみえます。(1945年6月~7月)(写真番号:06-66-2)



写真⑥ 沖縄戦最中の参道。(1945年5月29日)(写真番号:72-36-1)



写真⑦ 「官幣社波上宮」の石碑と護国寺。(1945年か)(写真番号:74-22-1)



写真⑧ 波上宮。(1950年頃) (資料コード: 0000086412 【1121】)

前頁の矢印の位置を現在の標準地図（国土地理院）に落としてみました。地図上の矢印や三角印は空中写真とほぼ同じ位置になります。写真⑧は1950年頃の波上宮です。人影がほとんどなく、まだ沖縄戦の傷跡を残しているようです。

注 * 那覇市史 1979『那覇の歴史民俗地図』

昔おきなわ風景探索 No. 19

発行日：令和8年（2026）3月13日

編集執筆：当山昌直（1951年生）

発行：（公財）沖縄県文化芸術振興会 公文書管理課

〒901-1105 沖縄県島尻郡南風原町新川148-3 沖縄県公文書館内

電話（代表）098-888-3875 FAX: 098-888-3879

沖縄県公文書館デジタルアーカイブ

アメリカ統治下にあった頃の写真や空中写真を公開しています。

